

謹んで新春の お喜びを申し上げます

市民の皆さん、新年おめでとうございます。
皆さんは、どんな新年をお迎えになりましたか。
昨年、市では「更に熱く強く賑わいと活気ある花巻へ」をスローガンに、まちづくりに取り組んでまいりました。

春には、高村光太郎生誕130周年を記念して、高村山荘に隣接する市の施設を高村光太郎記念館として開館し、たくさんの光太郎ファンにお越しいただきます。

また、賢治さんが亡くなって80年の節目を記念し、富田勲氏作曲の「イーハトーヴ交響曲」の公演をはじめ、博物館では「藤城清治光のファンタジー展」の開催、さらには記念行事として、「NHKのど自慢」や「世界における宮沢賢治」シンポジウムなど、記念イベントを次々と開催し、賢治のまち花巻を全国に発信してまいりました。

スポーツにおいては、大規模改修を終えた花巻球場のリニューアルオープン記念行事をはじめ、富士大学と法政大学による親善試合やプロ野球イースタウンリーグの開催、そして年末の菊池雄星・大谷翔平両選手による「ふるさと復興応援ステージ」と大変な賑わいでした。

また、地域特色を生かした大迫のクライミングボードの設置、若者に人気のスケートボード場の開場など、新たな施設の整備により、市外からも多くの利用者が訪れました。

さらには、昨年初めて開催した「第1回イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会」では、中華航空の特別協賛による優勝者への台北マラソン招待もあり、県内外からたくさんの方の参加をいただくとともに、台湾においても花巻をPRすることができました。

一方、地域づくりも盛んに行われており、一昨年に引き続き開催した「地域元気フェスティバル2013スポーツ交流大会」では、スポーツを通して地域住民や地域間の交流を深めるとともに、27の地域が一体となって花巻市に活力をもたらすことを実感したフェスティバルとなりました。

冬の大イベントとして企画した「はなまき産業大博覧会2013」においても2年目の開催でありましたが、市内の多くの事業所、関係団体の皆さまのご協力により、前回以上の入場者を数え、大盛況に終えることができました。

また、昨年は企業誘致も飛躍的に進みました。製造業や流通業に加えて、農業や畜産など、さまざまな分野の企業が立地することとなりました。交通の便利

性や基盤整備が進んだ農業地域などの花巻の強みを生かした誘致活動が着実に効果を上げてきたものであり、さらなる企業立地が今後も期待されます。

さて、新市が誕生して9年目となった平成26年、2014年。ことしの4月からは、新たなまちづくり総合計画がスタートします。いよいよ、一つになった花巻市の本当のまちづくり、花巻の未来をつくる時代が始まります。

花巻の未来、それは都会にはない地方にしか成し得ない、真の豊かさを実感できる理想の地方都市花巻です。

豊かな自然の恩恵を十二分に享受し、落ち着いた環境の中にもめりはりの利いた、活気ある暮らしやすいまち。そこに住む人は地域やまちに誇りを持ち、自立した人たちです。自分たちの考えと力でつくる地域やまちこそが活力をつくっていくのです。

さあ、皆さんの地域の未来、どう描きますか、どうつくっていきますか。

まちづくりの原動力は私たち一人一人の力です。市民の力は地域の力、地域の力は花巻市の力。

地域と市行政が力を合わせて、地域の未来、花巻の未来、躍進する未来をつくっていきましょう。

ことし一年、皆さまのご多幸をお祈りし、新年のごあいさつといたします。

花巻市長

大石満雄